

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社アイ・アールジャパン

コード番号 6051 URL <http://www.irjapan.net/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 寺下 史郎

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートプランニングユニット長 (氏名) 藤原 豊

TEL 03-3796-1120

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,177	3.0	500	3.6	502	0.2	229	△11.7
23年3月期第3四半期	2,114	—	483	—	501	—	259	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	135.77	—
23年3月期第3四半期	177.85	—

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,785	1,287	72.1
23年3月期	1,747	1,110	63.5

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 1,287百万円 23年3月期 1,110百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	30.00	30.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,660	6.4	471	13.5	470	12.3	210	22.1	124.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3頁「四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	1,687,100 株	23年3月期	1,687,100 株
24年3月期3Q	61 株	23年3月期	— 株
24年3月期3Q	1,687,061 株	23年3月期3Q	— 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3頁「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

#### ①業績の状況

わが国の資本市場環境は、企業経営にとって予断を許さない激動の時期に入っております。平成23年6月のわが国企業の株主総会においては、安定株主の減少や機関投資家株主比率の上昇により反対比率が30%を超える議案が増加しました。また、最近の一連の企業不祥事を受け、会社法改正による社外取締役の選任義務化等のガバナンス強化に向けた動きが加速するなど、当社の顧客である上場企業の議決権を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような環境下において、株主からの賛成票確保等の当社コンサルティングサービスのニーズは増大し、当第3四半期累計期間は、委任状争奪戦やM&A等の大型案件(有事案件)が発生しない中で、新規及び既存顧客の通常案件の受注が堅調に推移いたしました。

さらに「日本株の株主」として台頭しつつあるアジアの投資家に関する情報の質を一層高めるべく、経営陣自ら、シンガポール、香港、北京の投資家を平成23年10月に訪問し、インテリジェンスの強化に努め、サービス品質を向上させました。

これらの結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高2,177百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益500百万円(前年同期比3.6%増)、経常利益502百万円(前年同期比0.2%増)、四半期純利益229百万円(前年同期比11.7%減)となりました。

サービス別の売上高につきましては、IR・SRコンサルティング1,553百万円(前年同期比1.5%増)、ディスクロージャーコンサルティング457百万円(前年同期比9.2%増)、データベース・その他167百万円(前年同期比1.3%増)となりました。

#### ②季節的変動について

当社の四半期における売上高は、第1四半期、第2四半期に集中する傾向があります。これは、IR・SRコンサルティングが、企業の株主総会時期による影響を受けやすいという特性に起因するものであります。特に、日本企業の多くが3月決算を採用しており、6月に株主総会が開催されることが多いため、サービス提供時期が5～7月に集中する傾向があります。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ①資産

当第3四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ37百万円増加し、1,785百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少100百万円、売掛金の増加221百万円、無形固定資産の減少41百万円、投資その他の資産の減少48百万円等によるものであります。

#### ②負債

当第3四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ140百万円減少し、497百万円となりました。主な要因は、短期借入金の減少150百万円等によるものであります。

#### ③純資産

当第3四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ177百万円増加し、1,287百万円となりました。主な要因は、当第3四半期累計期間の純利益計上229百万円等による利益剰余金の増加178百万円等によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

(平成24年3月期 通期業績予想値の修正)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	2,620	451	450	198	117.36
今回発表予想 (B)	2,660	471	470	210	124.48
増減額 (B) - (A)	40	20	20	12	
増減率 (%)	1.5	4.4	4.4	6.1	
(ご参考) 前期実績 (平成23年3月期)	2,500	414	418	172	117.34

当第3四半期累計期間の業績がおおむね予想通り推移したことに加え、企業再編機運の高まりから経営統合・子会社再編等の動きが活発化しており、米国居住株主調査(10%テスト)の受託が強含むなど足元の業績は順調な見通しとなっております。

これらの状況を踏まえ、平成23年5月13日に公表しました業績予想については、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益を上方修正いたしました。

また、期末配当は配当性向に関して米国水準(35%)を目標としていることから、1株当たり45円(配当性向36.2%)を予定しております。

なお、業績予想につきましては、平成24年2月1日付「業績予想の修正(上方)及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	860,606	760,132
売掛金	181,142	402,732
仕掛品	38,717	42,262
貯蔵品	1,343	1,195
その他	86,996	92,782
貸倒引当金	△3,260	△7,249
流動資産合計	1,165,544	1,291,855
固定資産		
有形固定資産	47,691	48,617
無形固定資産	299,250	257,935
投資その他の資産		
その他	243,365	194,463
貸倒引当金	△7,992	△7,872
投資その他の資産合計	235,372	186,591
固定資産合計	582,314	493,145
資産合計	1,747,858	1,785,000
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	70,568	73,705
未払法人税等	158,727	158,040
賞与引当金	64,841	28,209
その他	262,860	156,851
流動負債合計	556,997	416,806
固定負債		
退職給付引当金	821	939
役員退職慰労引当金	55,407	67,915
その他	24,332	11,681
固定負債合計	80,562	80,536
負債合計	637,560	497,342
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	289,694	289,694
資本剰余金	278,496	278,496
利益剰余金	542,399	720,832
自己株式	—	△69
株主資本合計	1,110,591	1,288,954
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△292	△1,296
評価・換算差額等合計	△292	△1,296
純資産合計	1,110,298	1,287,657
負債純資産合計	1,747,858	1,785,000

（2）四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）	当第3四半期累計期間 （自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）
売上高	2,114,682	2,177,770
売上原価	829,377	790,406
売上総利益	1,285,304	1,387,363
販売費及び一般管理費	801,946	886,649
営業利益	483,358	500,714
営業外収益		
受取利息	688	601
為替差益	4,373	2,382
その他	17,059	193
営業外収益合計	22,121	3,177
営業外費用		
支払利息	4,058	1,506
その他	80	75
営業外費用合計	4,139	1,581
経常利益	501,339	502,309
特別損失		
固定資産除却損	—	35
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	33,907	—
特別損失合計	33,907	35
税引前四半期純利益	467,432	502,274
法人税等	208,124	273,229
四半期純利益	259,308	229,045

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。